

ブロック役員選任規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人福井県建築ブロック連合会（以下、「本会」という。）ブロック・ブロック設置規則に定めるブロックの役員の選任に関する事項を定めることを目的とする。

(ブロック役員)

第2条 ブロックには次の役員を置く。

- (1) ブロック長 1名
- (2) 副ブロック長 若干名
- (3) 会計理事 1名
- (4) 理事 ブロックの実状に合わせてブロックが定員を定める。
- (5) 監事 2名以内

(選挙)

第3条 役員の選任は、ブロックごとに選挙で行う。

(立候補)

第4条 役員に立候補しようとする者は、その所属するブロック員2名以上の推薦を得て選挙管理委員会に立候補届をしなければならない。

(当選等)

第5条 立候補者が定数と同数又は定数に満たない場合は、立候補者は無投票当選者として役員となる。

- 2 立候補者が定数を越えた場合は、選挙により最多得票数を得た者から順に当選した者を役員とする。
- 3 定数に満たない役員数については、役員推薦委員会の推薦により推薦された者でその就任を承諾した者を役員とする。

(選挙管理委員会)

第6条 役員選出の選挙を執行するために各ブロックにそれぞれ選挙管理委員会を置く。

- 2 選挙管理委員は、本会及びブロックの役員以外の正会員の中からブロック長が選任する。
- 3 選挙管理委員は5名をもって組織する。
- 4 選挙管理委員の互選により、委員長1名、副委員長1名を選出する。
- 5 選挙管理委員会は、次の事務を管理する。
 - (1) 選挙に関する告示

- (2) 立候補届、立候補辞退届の受理
- (3) 投票及び開票の管理
- (4) 投票者の確定
- (5) その他選挙事務の管理に必要な事項

(選挙告示)

第7条 選挙管理委員会は、現役員の任期満了となる日の5か月前までに次期役員の定数と選挙期日等を告示しなければならない。

- 2 選挙告示の方法は、ブロックの事務所に掲示し、その他そのブロック所属の全ての正会員に告示の内容が到達する適宜の方法で通知しなければならない。

(役員推薦委員会)

第8条 第5条第3項により役員を推薦すべき場合のために、ブロックごとにあらかじめ役員推薦委員会を設置しなければならない。

- 2 役員推薦委員会の推薦委員は5名以上とし、各ブロックで上限を定めることができる。
- 3 推薦委員会の運営等に関する事項は本会が別に定めた役員選任手続規則第7条を準用する。
- 4 推薦委員長は、推薦の結果を選挙管理委員長に書面で報告しなければならない。

(委員の任期)

第9条 選挙管理委員会及び推薦委員会の各委員の任期は、その就任後2回目の本会の定時総会の終結の時までとする。

(報告)

第10条 各ブロックの選挙管理委員長は、確定した役員を本会に報告しなければならない。

(役員名簿)

第11条 本会は、各ブロックの選挙管理委員長から報告された名簿に基づきブロック役員名簿を作成しなければならない。

(様式)

第12条 選挙手続に関する様式は、本会が定めた「役員選挙手続の様式に関する規程」を準用する。この場合同規程にある「福井県建築組合連合会」の後にブロック名を加えるものとする。

(改正)

第13条 この規程の改正は、理事会の決議によるものとする。

(施行期日)

第 14 条 この規程は、平成 2 5 年 4 月 2 4 日より施行する。